

No. 684

# 田辺アカバロを倒す 167F

プロ・ボクシング世界フライ級チャンピオン、オラシオ・アカバロ世界同級二位田辺清のノンタイトル戦が2月20日後楽園ホールで行なわれた。

この一戦に勝てばタイトル挑戦が約束されている田辺は、3回、右ストレートでアカバロをダウン、4回にも2度目のダウンを与え終始圧倒。

予想に反して動きの鈍いアカバロは、4回のバッティングで額を割り、まったく精彩がない、6回またもバッティングで出血がひどくなり、レフリーストップ、田辺のTKO勝。次期タイトル挑戦者として、日本の軽量級に大きな期待がかけられている。

# こうのみや 国府宮はだか祭り 228F

半田市は大鏡モチ奉納の準備に忙しい。1月20日、千人の強者が魚市場に集まり、重さ4キロもあるモチをつきあげる。そしてトラックにつみ込み、<sup>こゝろ</sup>国府宮に奉納すれば、翌21日は勇ましい<sup>はだか</sup>はだか祭り<sup>み</sup>冬の寒さなんかへっちゃら、裸姿の若い衆は次第にエキサイトし、ついにケンカまで起る始末である。

カメラ・スケッチ

# 苦しいときは…… 205F

2月20日、戒厳令下もどきの中で迎えた明治大学の入学試験、学費値上げ反対を唱える先輩達のデモを尻目に受験生達は受験票をかざして試験場入りした。

戦後ベビー・ブームの第三波中、大学進学者は約73万人を数え、狭き門はますます狭くなった。

猫も杓子も大学へとんびき、受験前線は荒れ模様、合理主義をもってなる現代っ子でさえ、<sup>み</sup>苦しい時の神頼み<sup>み</sup>と逆流、深淵な学識がトレード・マークの菅原道真朝臣をまつる東京亀戸天神は受験生の頼み綱として重宝がられ、参拝する姿が後をたたない。お百度を踏む母親、願いは唯一つ、入学である。

また、占いに自分の将来をあずけ、試験の合格可能性を占ってもらう現代っ子も現われる始末。

「頭の宮四方神社(三重県)」も賑う。石に願いを書き、頭の守護神へ、頭をたれる。ただ大学へ進めることを願う。その先はまだ考えるいと間もないようである。